

第1回 市政モニターアンケート調査結果



長 崎 市
地域医療室

■調査テーマ

「長崎市の地域医療について」

長崎市では、市民が健康で安心して暮らせるまちを目指し、持続可能な医療提供体制の構築に向けた取り組みを行っています。

そこで、市民が日頃感じている、お住まいの地域の医療提供体制に対するニーズや地域医療の現状認識等を把握することを目的としています。

■調査結果

今回の調査においては、医療体制は、約8割のかたが十分満足もしくは特に不便でないと感じており、夜間や休日の医療体制についても6割以上のかたが十分もしくはほぼ整っていると感じておられることが分かりました。

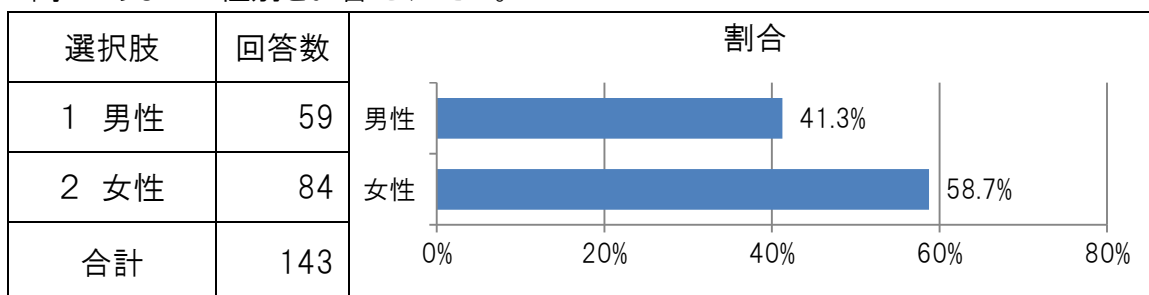
しかしながら、地域や年代別に見ると、その感じ方に差があることが分かりました。

また、夜間や休日の病気やけがの時は、約8割のかたが休日当番医や夜間急患センターをご利用されるかたが多い反面、約7割のかたはお住まいの地域に夜間・休日の救急医療を充実してほしいと感じていることが分かりました。

今回の調査を踏まえ、市民が安心して医療を受けられる体制づくりについて更なる検討を進めてまいりたいと思います。

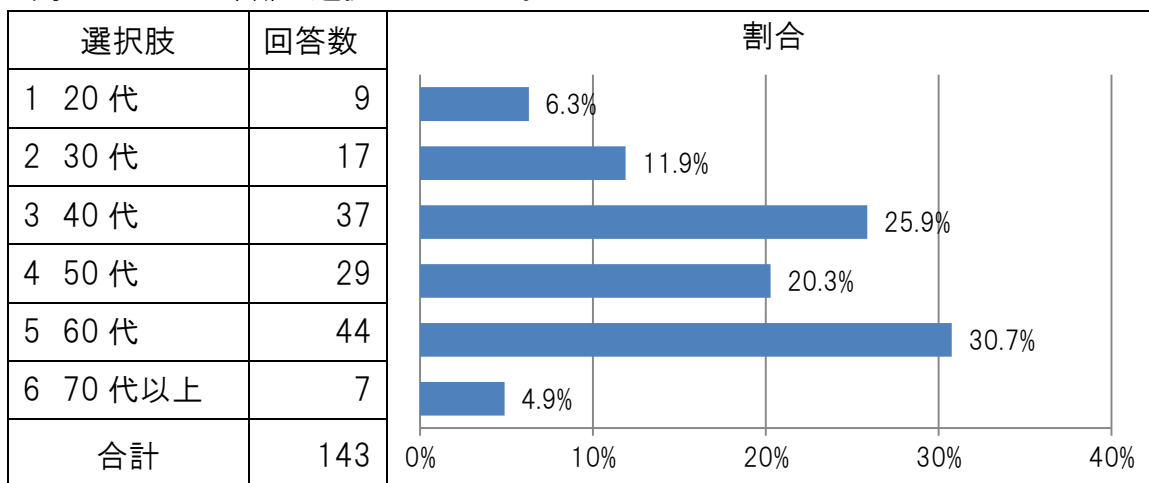
貴重なご意見をありがとうございました。

➤ 問1 あなたの性別をお答えください。



単位:人

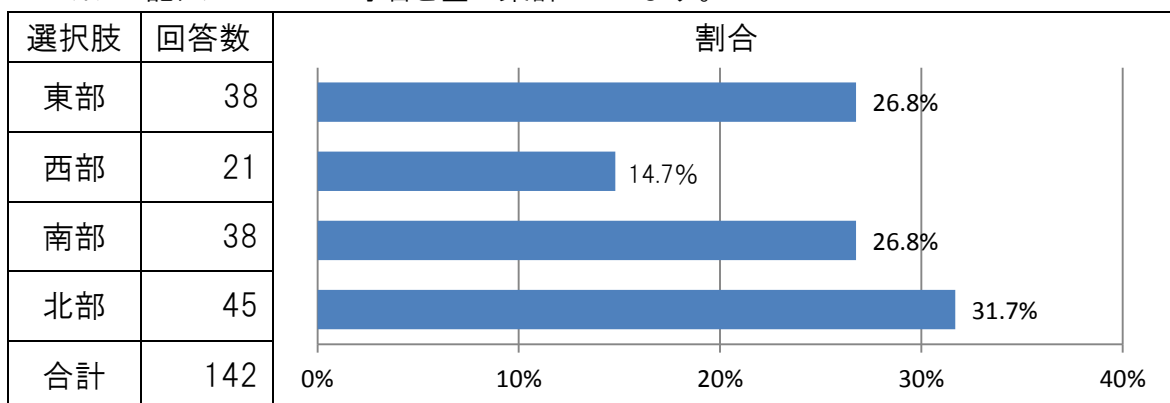
➤ 問2 あなたの年齢を選択してください。



単位:人

➤ 問3 お住まいの町名を教えてください。

※ ご記入いただいた町名を基に集計しています。

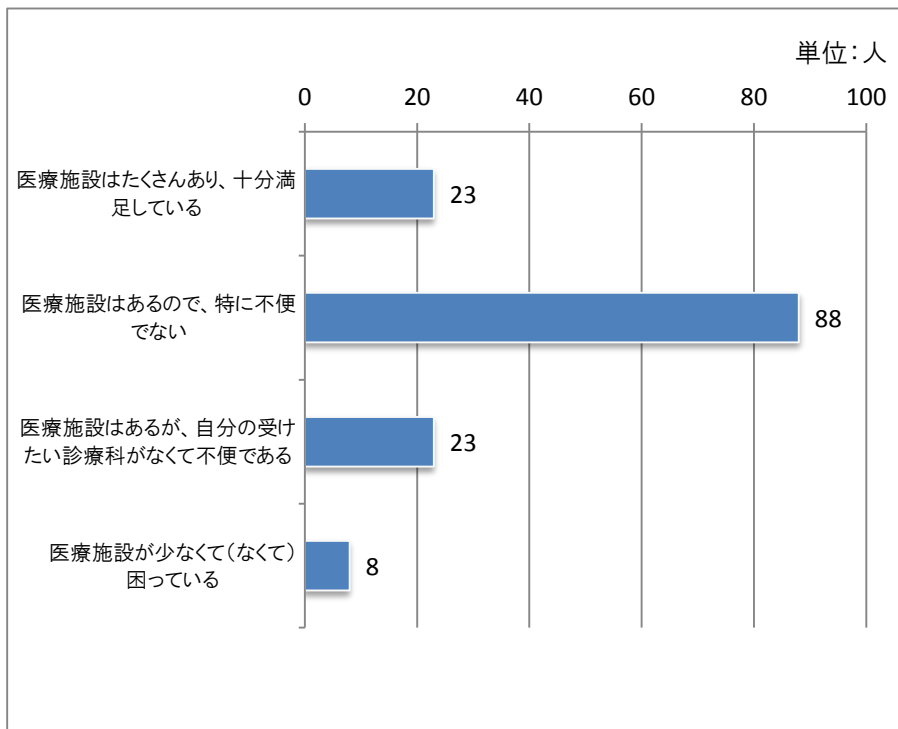


単位:人

➤ 問 4 お住まいの地域の医療施設(病院・診療所)について、どのように感じていますか。
(必須)

※割合はアンケート回答者の合計人数(143人)に対する割合。

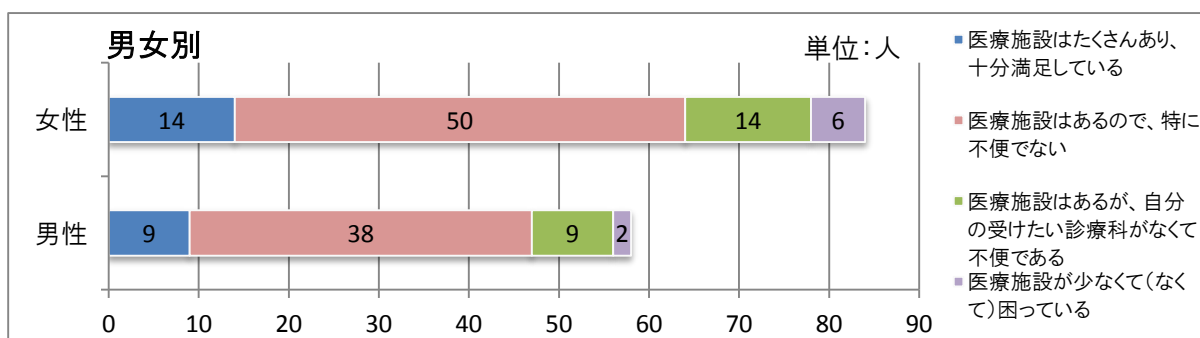
項目	回答数	割合
1 医療施設はたくさんあり、十分満足している	23	16.1%
2 医療施設はあるので、特に不便でない	88	61.5%
3 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科がなくて不便である	23	16.1%
4 医療施設が少なくて(なくて)困っている	8	5.6%
5 未回答	1	0.7%
合計	143	100.0%



医療体制については、十分満足もしくは特に不便でないとの回答が全体の 77.6%を占めています。これは、男女別にみてもほぼ同様の傾向にあります。

しかしながら、年代別にみると、20 代では十分満足や特に不便でないとの回答の割合が 66.7%である反面、70 代以上ではすべてのかたが特に不便でないと回答するなど年代ごとに差があります。

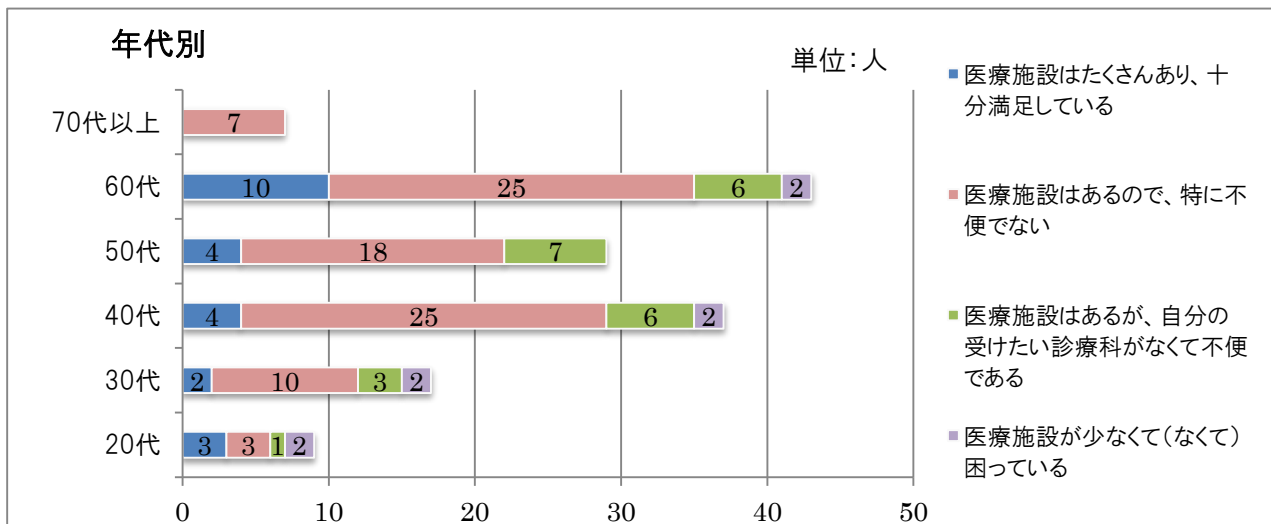
また、地域別にみても、西部地区(52.4%)や南部地区(68.4%)では十分満足や特に不便でないと回答したかたの割合がやや低くなっており、地域ごとに差があります。



十分満足もしくは特に不便でないと回答したかたの人数および割合

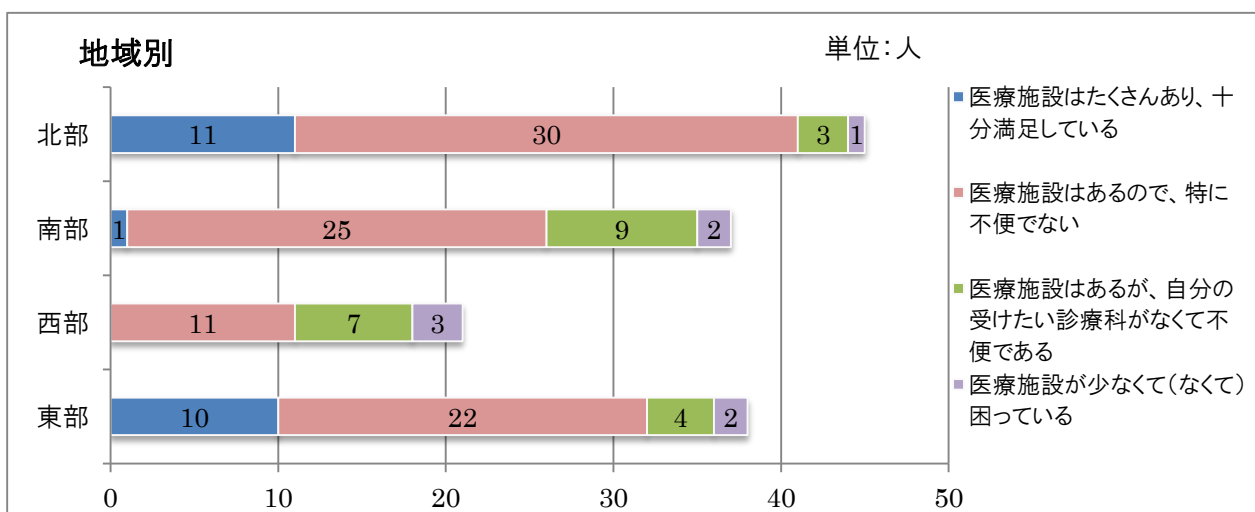
①女性の回答者 84 人に対し 64 人(76.2%)

②男性の回答者 58 人に対し 47 人(81.0%)



十分満足もしくは特に不便でないと回答したかたの人数および割合

- ①70代以上の回答者 7 人に対し 7 人(100%)
- ②60代の回答者 43 人に対し 35 人(81.4%)
- ③50代の回答者 29 人に対し 22 人(75.9%)
- ④40代の回答者 37 人に対し 29 人(78.4%)
- ⑤30代の回答者 17 人に対し 12 人(70.6%)
- ⑥20代の回答者 9 人に対し 6 人(66.7%)



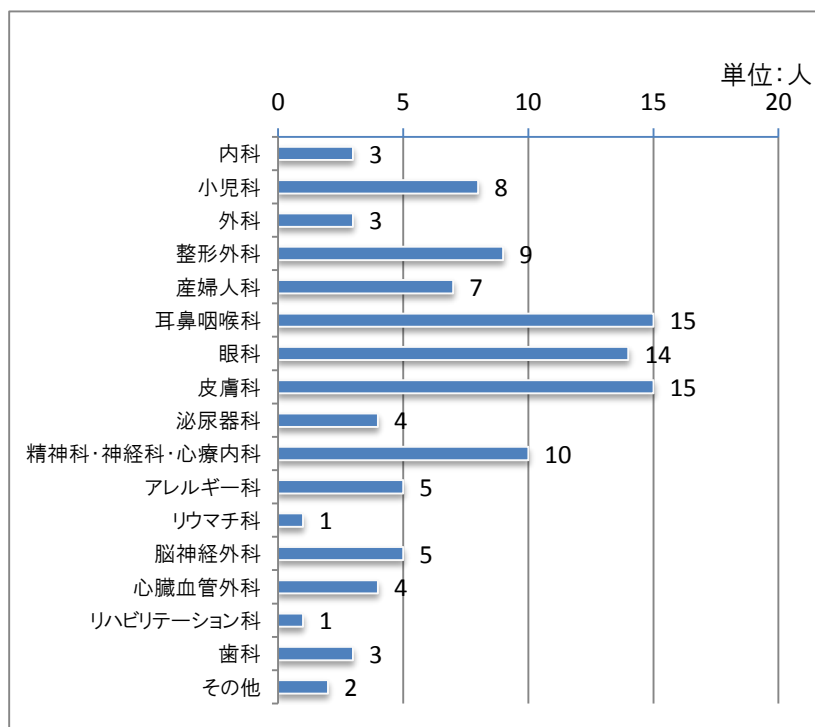
十分満足もしくは特に不便でないと回答したかたの人数および割合

- ①北部の回答者 45 人に対し 41 人(91.1%)
- ②南部の回答者 37 人に対し 26 人(70.3%)
- ③西部の回答者 21 人に対し 11 人(52.4%)
- ④東部の回答者 38 人に対し 32 人(84.2%)

➤ 問5 お住まいの地域になくて困っている診療科は何ですか。(複数回答可)

※割合は問4で「不便」、「困っている」と回答したかの合計人数(31人)に対する割合。

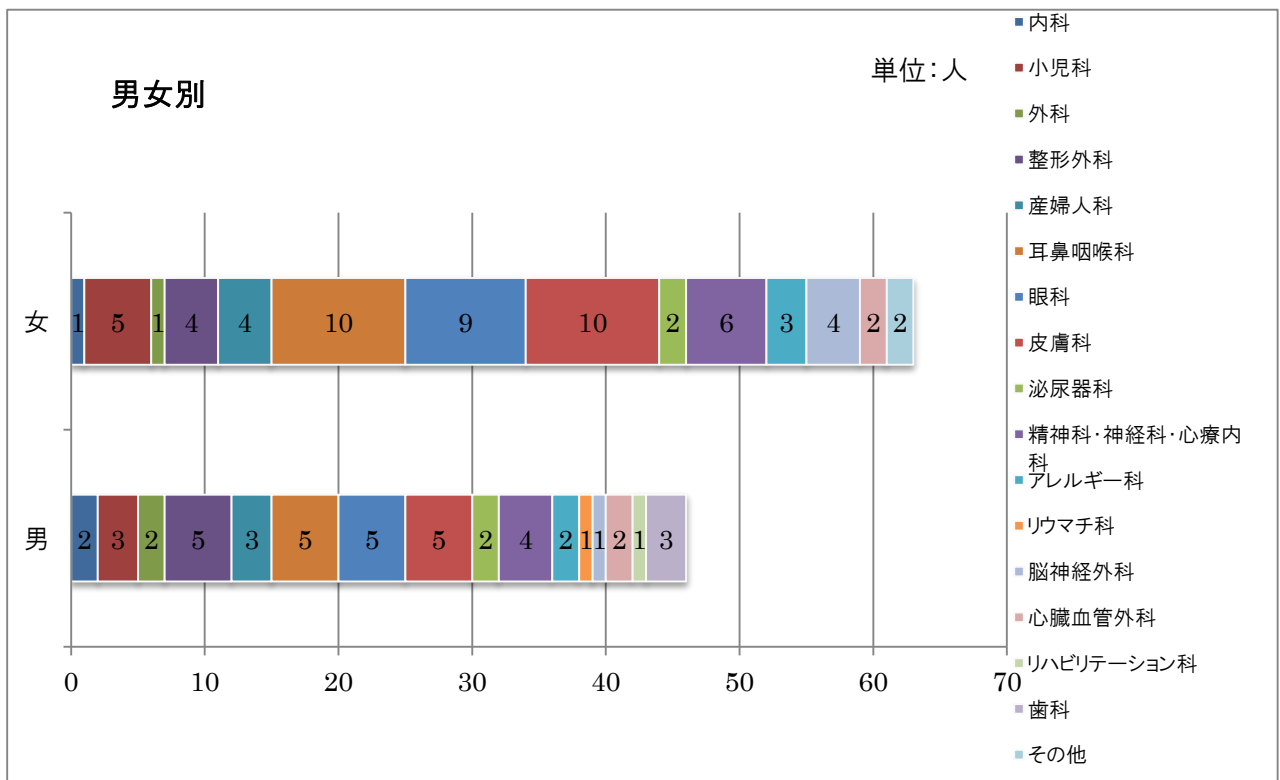
項目	回答数	割合
1 内科	3	9.7%
2 小児科	8	25.8%
3 外科	3	9.7%
4 整形外科	9	29.0%
5 産婦人科	7	22.6%
6 耳鼻咽喉科	15	48.4%
7 眼科	14	45.2%
8 皮膚科	15	48.4%
9 泌尿器科	4	12.9%
10 精神科・神経科・心療内科	10	32.3%
11 アレルギー科	5	16.1%
12 リウマチ科	1	3.2%
13 脳神経外科	5	16.1%
14 心臓血管外科	4	12.9%
15 リハビリテーション科	1	3.2%
16 歯科	3	9.7%
17 その他	2	6.5%

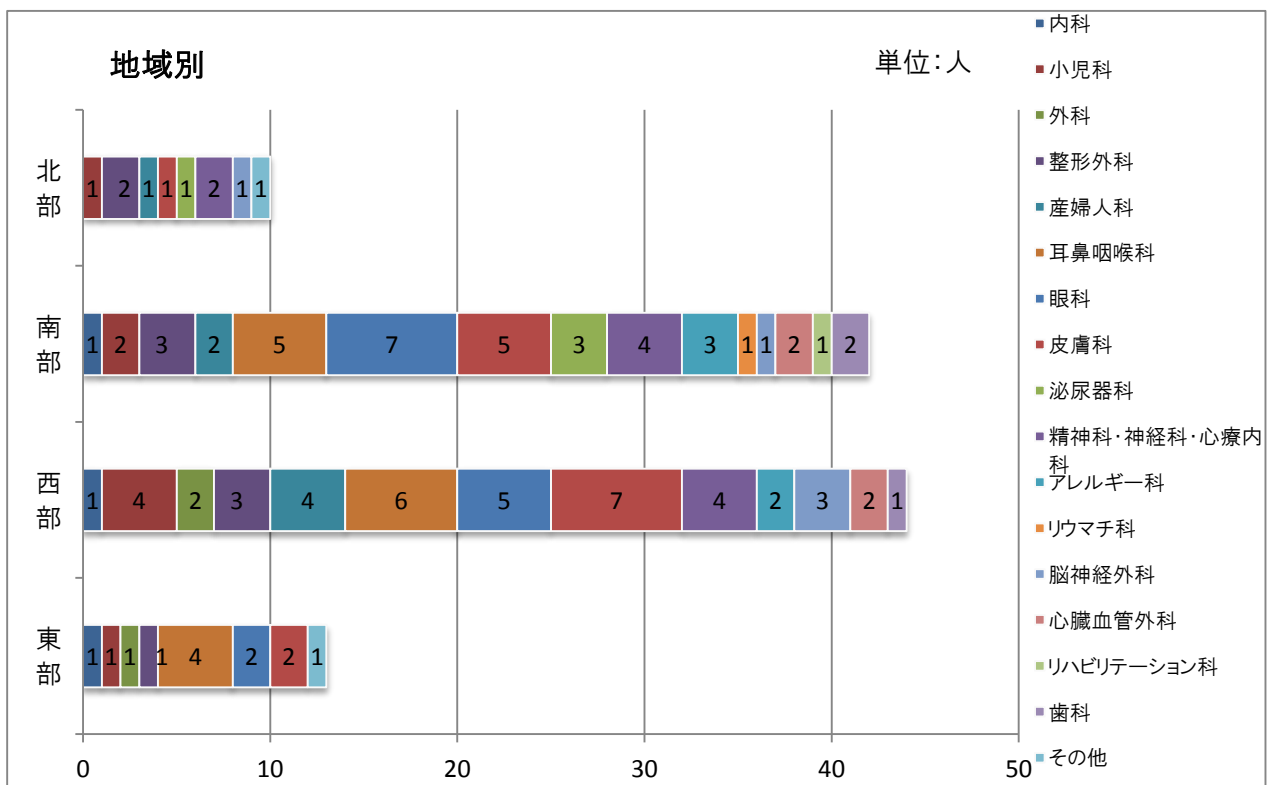
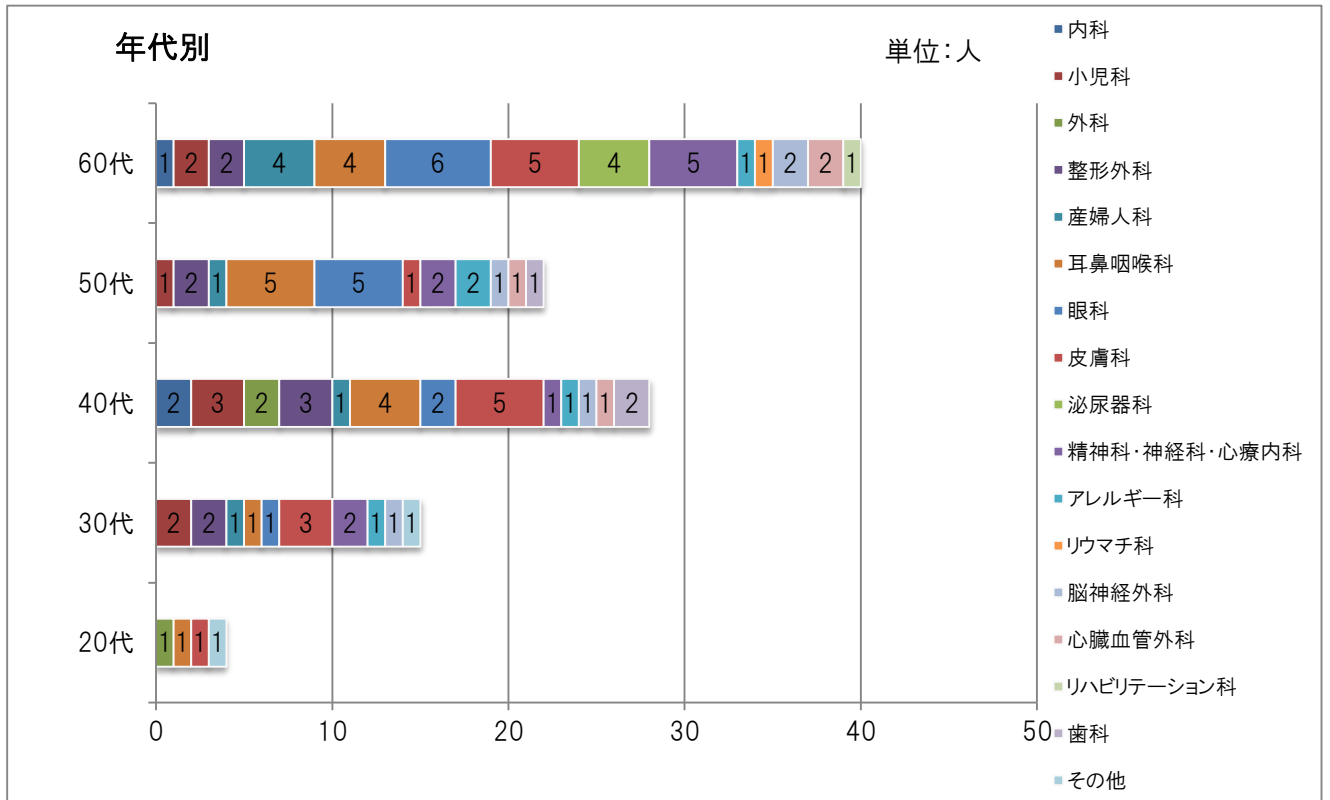


その他の診療科の内訳: 肛門科 1、乳腺科 1

問 4 で自分が受けたい診療科がなくて不便および医療施設が少なくて(なくて)困っていると感じているかた 31 人に、地域になくて困っている診療科を伺ったところ、4 割以上のかたが耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科がお住まいの地域に不足していると感じていることが分かります。これは、男女別、地域別および年代別にみても、ほぼ同様の傾向となっています。

しかしながら、60 代の 8 人のかたは、地域になくて困っている診療科の回答数が 40(1 人当たり平均 5 つの診療科)となっており、他の年代と比べ、お住まいの地域は必要な診療科が不足していると感じているかたが多い傾向にあります。

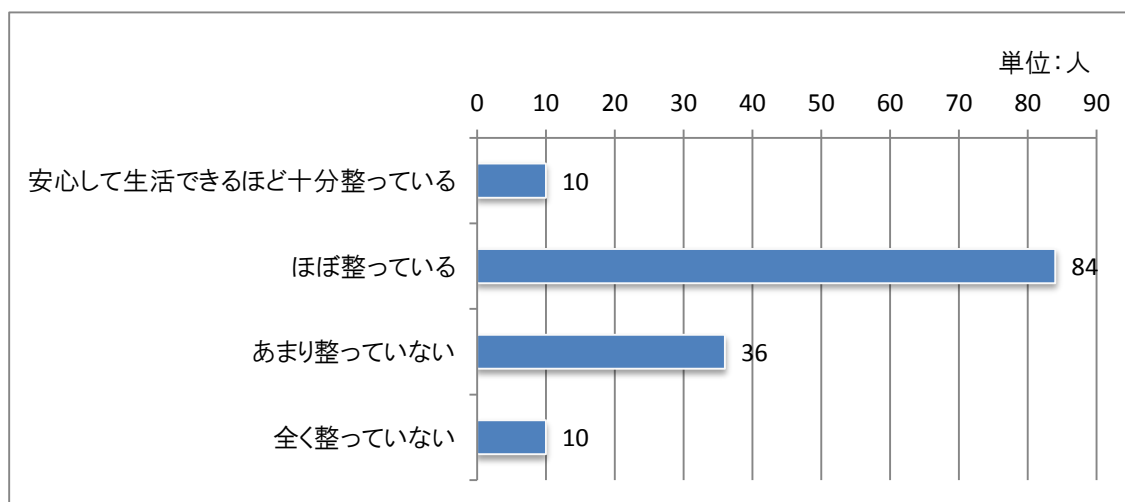




- 問 6 お住まいの地域の休日・夜間における医療体制は、どの程度整っていると思いますか。(必須)

※割合はアンケート回答者の合計人数(143人)に対する割合。

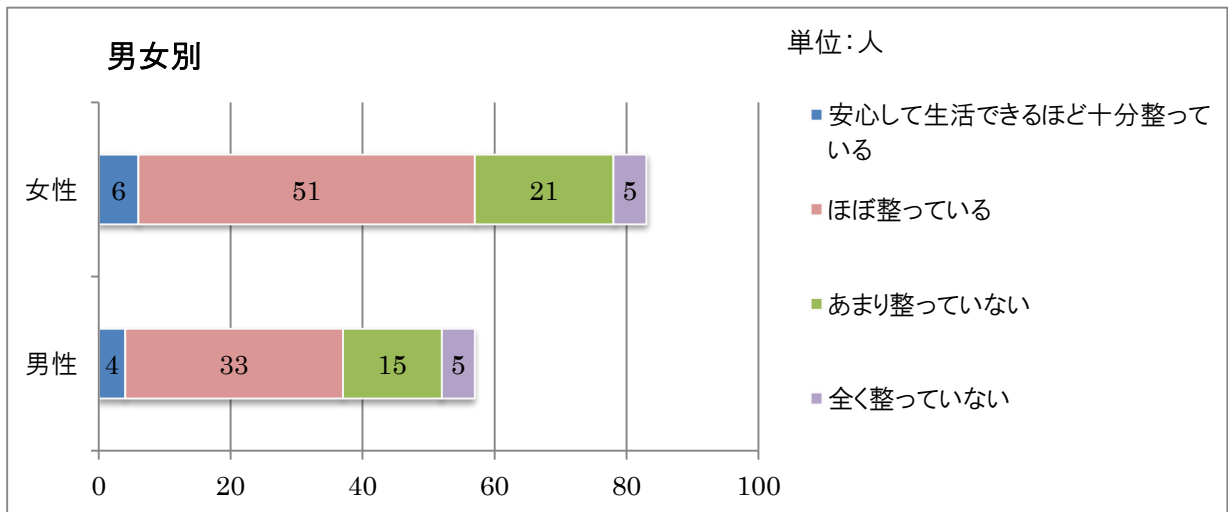
項目	回答数	割合
1 安心して生活できるほど十分整っている	10	7.0%
2 ほぼ整っている	84	58.7%
3 あまり整っていない	36	25.2%
4 全く整っていない	10	7.0%
5 未回答	3	2.1%
合計	143	100.0%



休日・夜間における医療体制については、「十分整っている」若しくは「ほぼ整っている」との回答が全体の 65.7%を占めています。これは、男女別にみてもほぼ同様の傾向となっています。

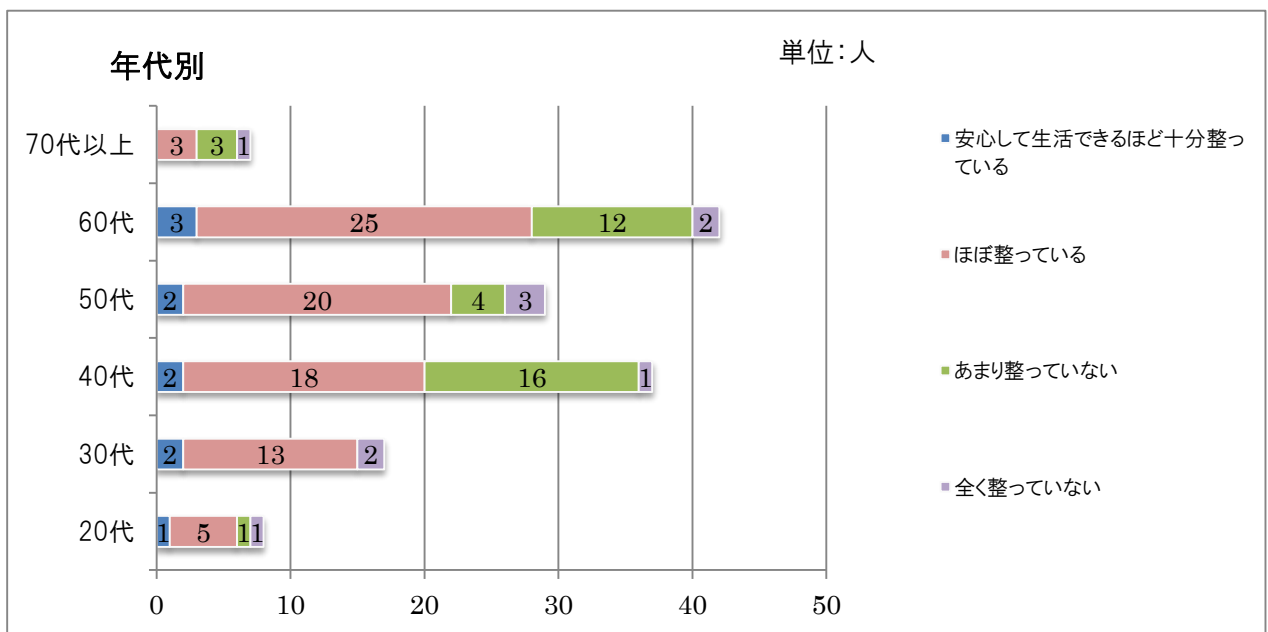
しかしながら、年代別にみると、30代では「十分整っている」もしくは「ほぼ整っている」との回答の割合が88.2%である一方、70代以上では42.9%と低く、年代ごとでかなり差があります。

また、地域別にみると「十分整っている」もしくは「ほぼ整っている」との回答の割合が西部地区は 57.9%、南部地区では 56.8%と、東部、北部に比べて低くなっており、地域ごとに差が見られます。



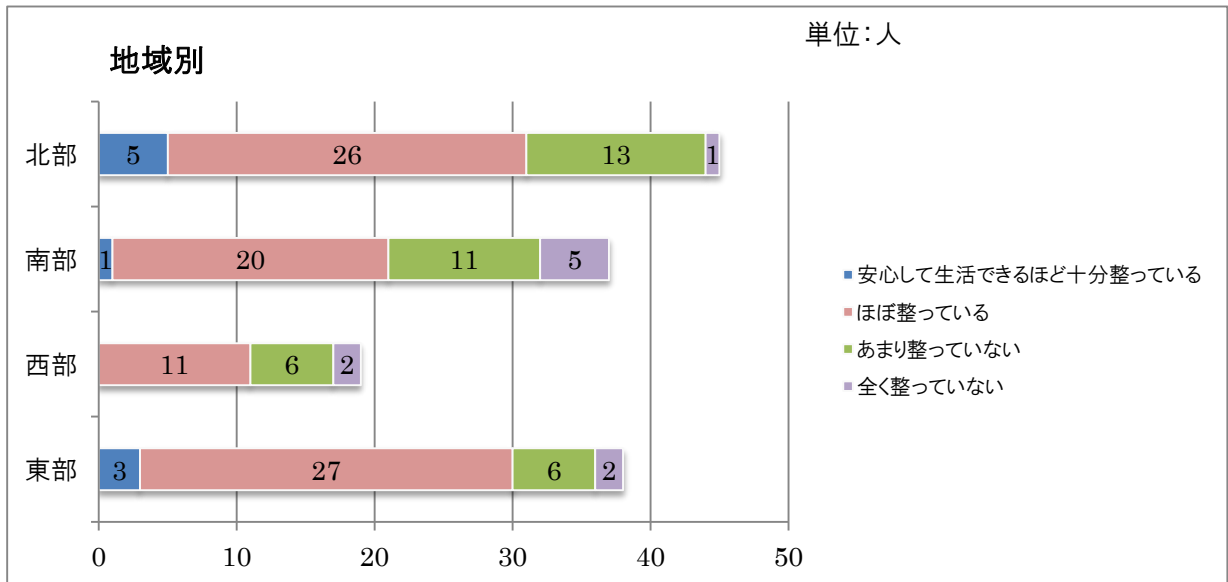
「十分整っている」若しくは「ほぼ整っている」と回答したかたの人数および割合

- ① 女性の回答者 83 人に対し 57 人(68.7%)
- ② 男性の回答者 57 人に対し 37 人(64.9%)



十分整っているもしくはほぼ整っていると回答したかたの人数および割合

- ① 70代以上の回答者 7 人に対し 3 人(42.9%)
- ② 60代の回答者 42 人に対し 28 人(66.7%)
- ③ 50代の回答者 29 人に対し 22 人(75.9%)
- ④ 40代の回答者 37 人に対し 20 人(54.1%)
- ⑤ 30代の回答者 17 人に対し 15 人(88.2%)
- ⑥ 20代の回答者 8 人に対し 6 人(75.0%)



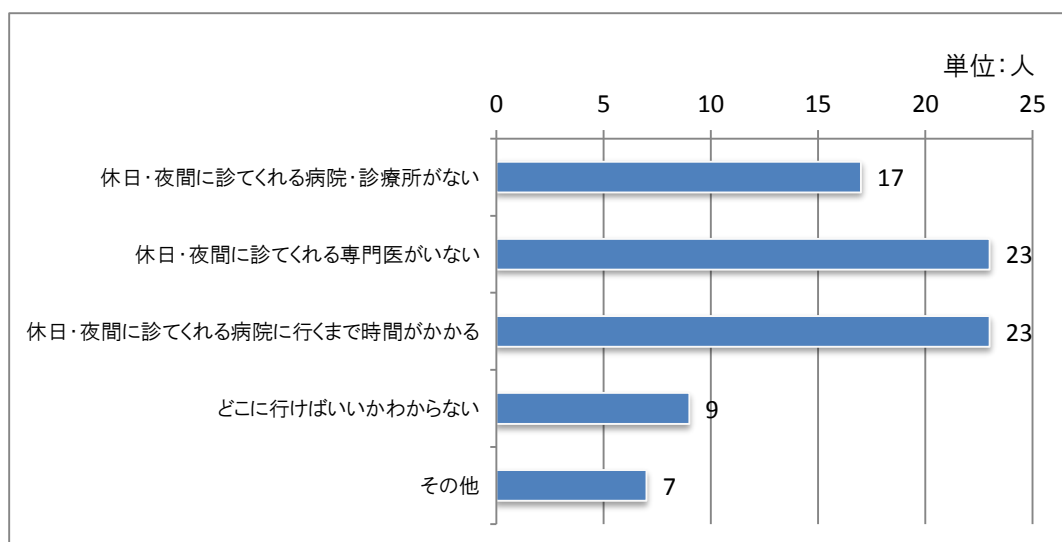
「十分整っている」若しくは「ほぼ整っている」と回答したかたの人数および割合

- ① 北部の回答者 45 人に対し 31 人(68.9%)
- ② 南部の回答者 37 人に対し 21 人(56.8%)
- ② 西部の回答者 19 人に対し 11 人(57.9%)
- ③ 東部の回答者 38 人に対し 30 人(78.9%)

➤ 問7 どのような点が整っていないと思いますか。(複数回答可)

※割合は問6で「あまり整っていない」、「全く整っていない」と回答したかたの合計人数(46人)に対する割合。

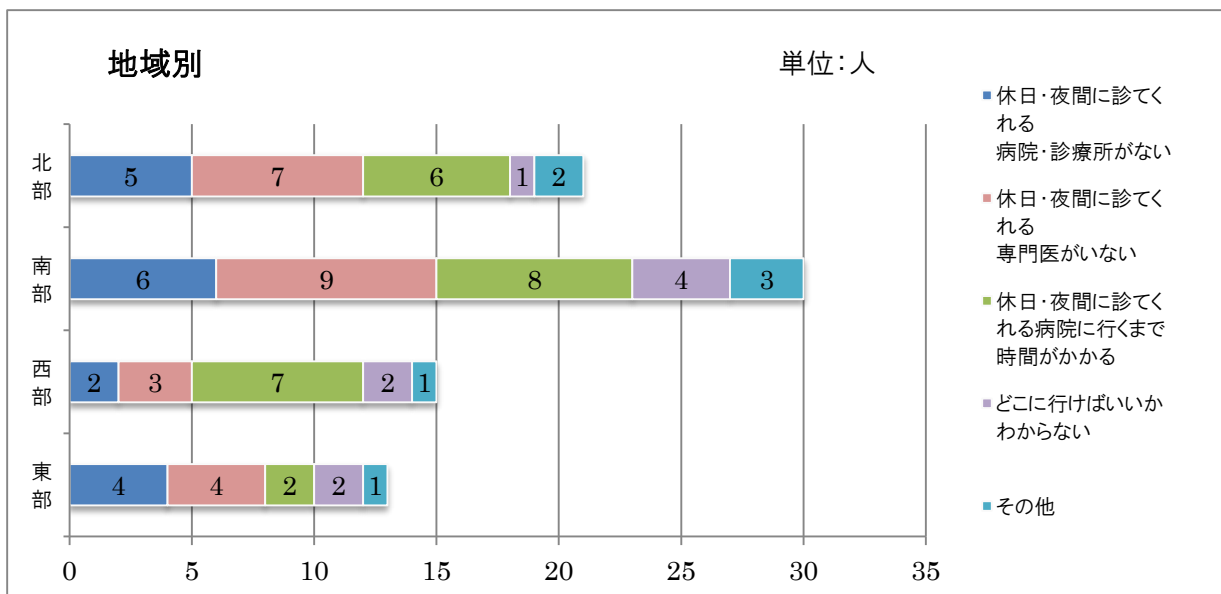
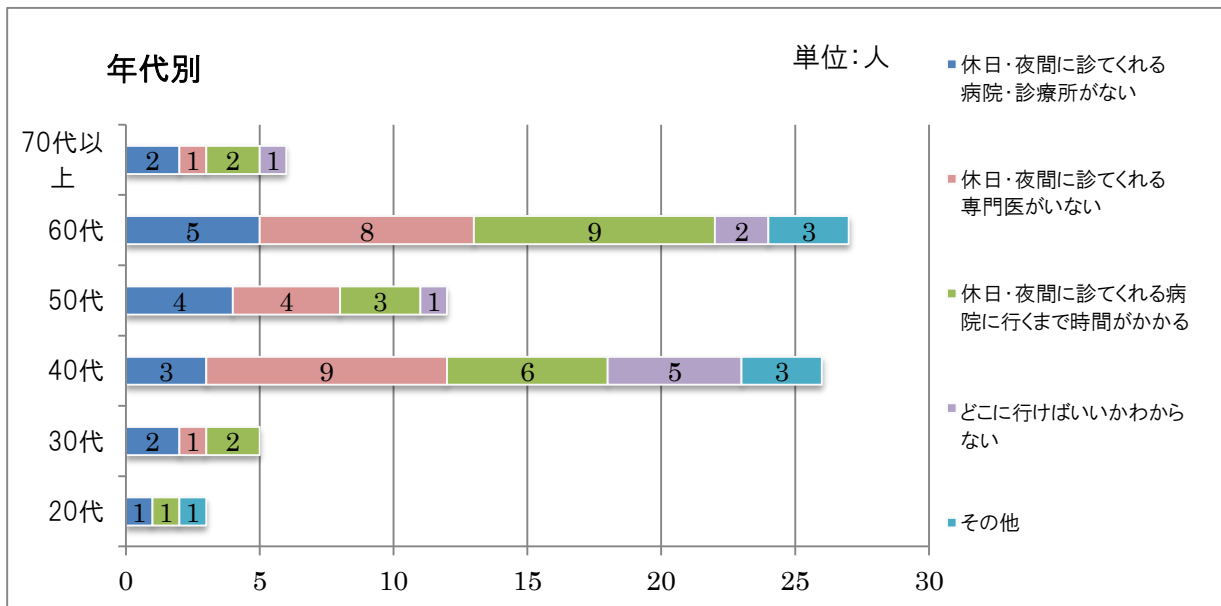
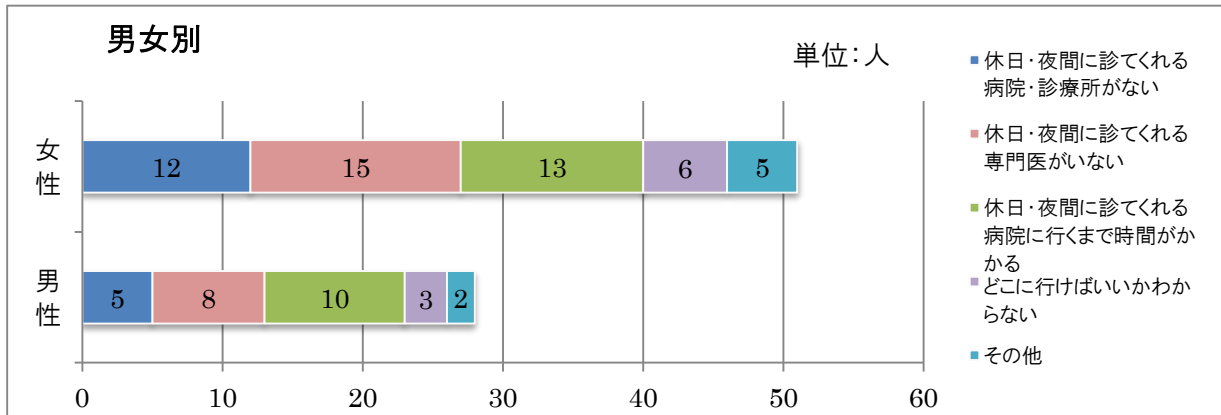
項目	回答数	割合
1 休日・夜間に診てくれる病院・診療所がない	17	37.0%
2 休日・夜間に診てくれる専門医がない	23	50.0%
3 休日・夜間に診てくれる病院に行くまで時間がかかる	23	50.0%
4 どこに行けばいいかわからない	9	19.6%
5 その他	7	15.2%



【その他】

- ・休日診療が終わってから夜間診療の開始時間までの間に診てもらえるところがないので不便(PM 6:00~PM8:00)
- ・病院、診療所までの距離が遠い
- ・待ち時間が長い
- ・信用に値する病院(医者)を探せない。
- ・連絡しても開業医では診てくれない。救急車を呼ぶのは大変気が引けるので、タクシー等で行ったが、近くの病院では診てくれない。
- ・明らかに重篤の状態にあっても、一旦、自ら診療所に行き、診察を受け、救急搬送するか否かの判断を仰ぐシステムとなっており、時間的ロスが甚だしい。少なくとも往診できる体制にしてほしい。

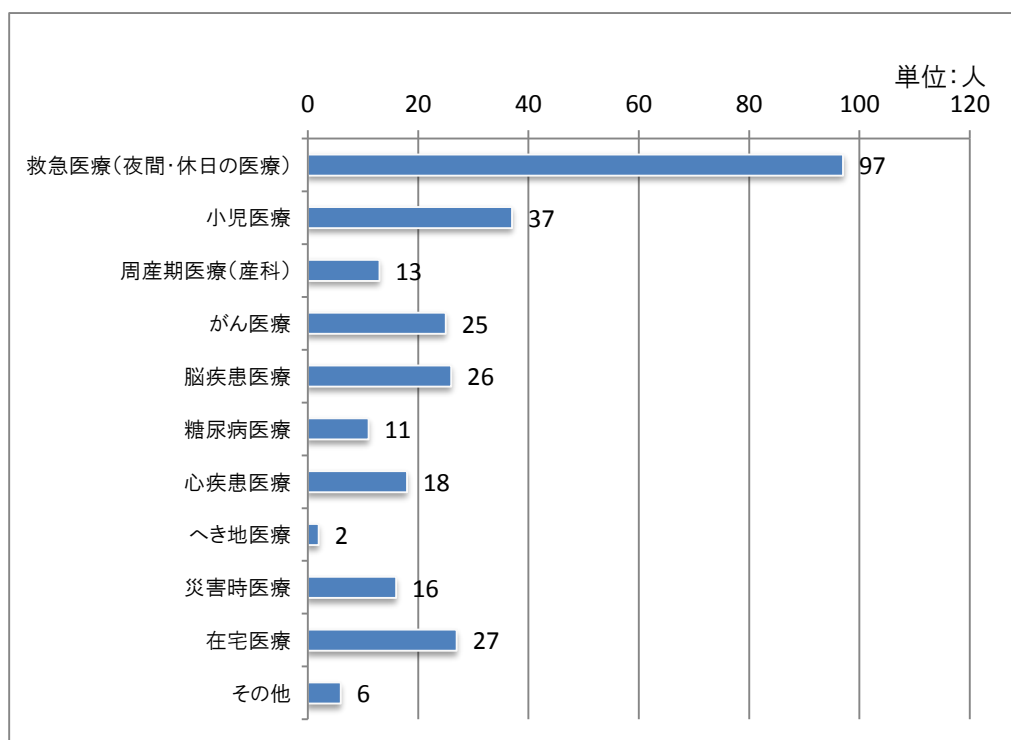
問 6 で休日・夜間における医療体制があまり整っていないまたは全く整っていないと感じているかた 46 人に、理由を伺ったところ、半数のかたが休日・夜間に診てくれる専門医がない、休日・夜間に診てくれる病院に行くまで時間がかかると感じていることが分かります。



- 問 8 お住まいの地域の医療体制について、今後、より充実してほしい医療機能は何ですか。(複数回答可)(必須)

※割合はアンケート回答者の合計人数(143人)に対する割合。

項目	回答数	割合
1 救急医療(夜間・休日の医療)	97	67.8%
2 小児医療	37	25.9%
3 周産期医療(産科)	13	9.1%
4 がん医療	25	17.5%
5 脳疾患医療	26	18.2%
6 糖尿病医療	11	7.7%
7 心疾患医療	18	12.6%
8 へき地医療	2	1.4%
9 災害時医療	16	11.2%
10 在宅医療	27	18.9%
11 その他	6	4.2%

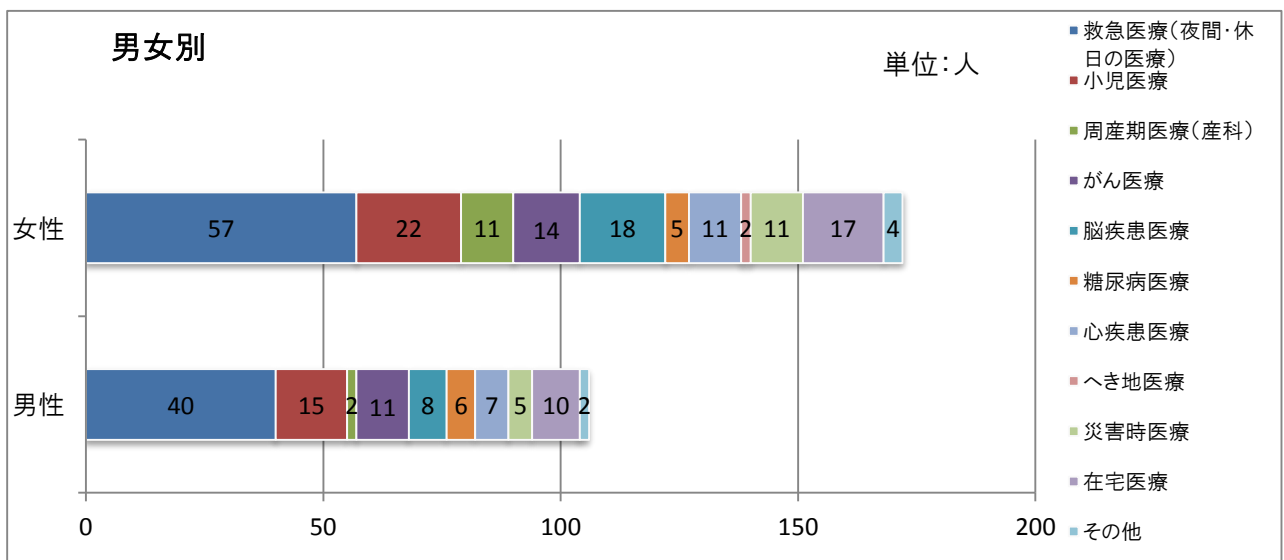


【その他】

- ・地域をどこまで広げて考えてよいか分からないので、答えられません。分かりません。充実できれば全て充実すると良いと思います。
- ・精神疾患
- ・相談しやすい(電話など)体制
- ・魚の町の診療所みたいな医療機関を増やしてほしい。開業医は時間外等に診てくれなかった。病院などは大きい施設より受診できる診療所がほしい。行政にお願いするよりほかないと思いました。

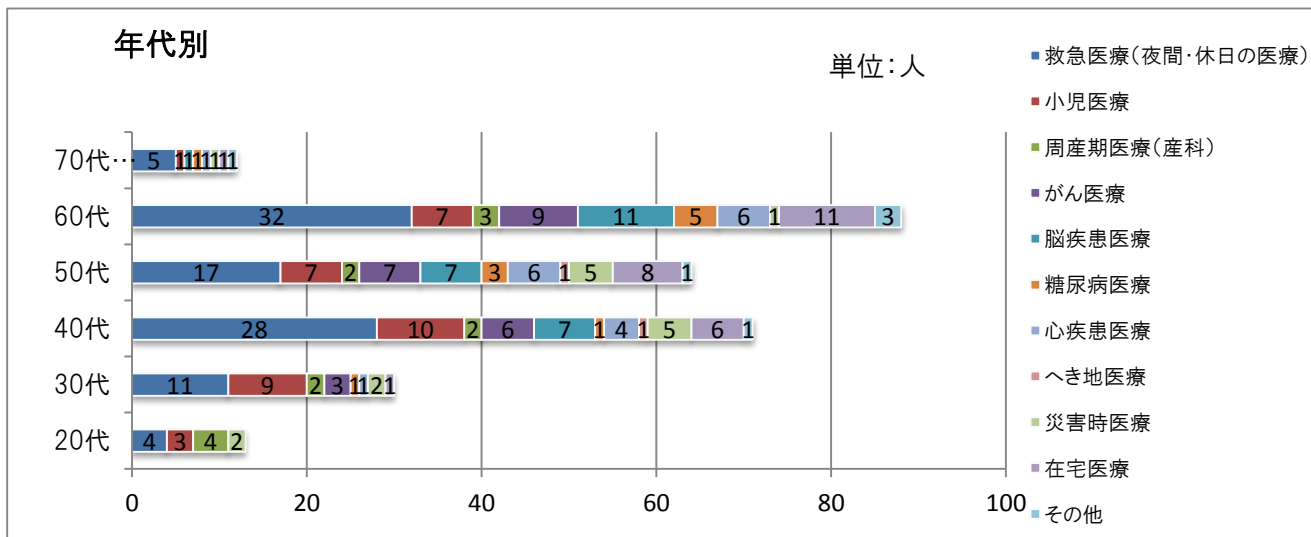
お住まいの地域で充実してほしい医療体制については、全体の 67.8%のかたが「救急医療(夜間・休日の医療)」を充実してほしいと感じており、次いで「小児医療」を充実してほしいと感じているかたが多いことが分かります。これは地域別、年代別にみても同様の傾向となっています。

また、地域別にみると、東部と北部では、「在宅医療」を充実してほしいと感じておられるかたが多い傾向となっています。



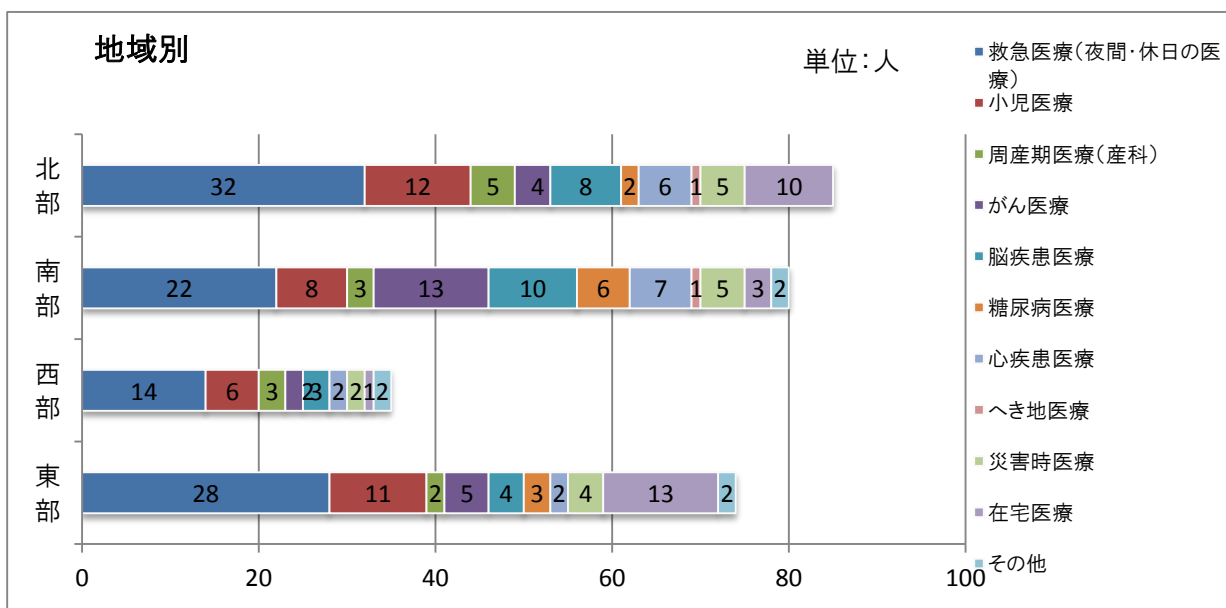
救急医療(夜間・休日の医療)と回答したかたの人数および割合

- ① 女性の回答者 84 人に対し 57 人(67.9%)
- ② 男性の回答者 59 人に対し 40 人(67.8%)



救急医療(夜間・休日の医療)と回答したかたの人数および割合

- ① 70代以上の回答者7人に対し5人(71.4%)
- ② 60代の回答者44人に対し32人(72.7%)
- ③ 50代の回答者29人に対し17人(58.6%)
- ④ 40代の回答者37人に対し28人(75.7%)
- ⑤ 30代の回答者17人に対し11人(64.7%)
- ⑥ 20代の回答者9人に対し4人(44.4%)



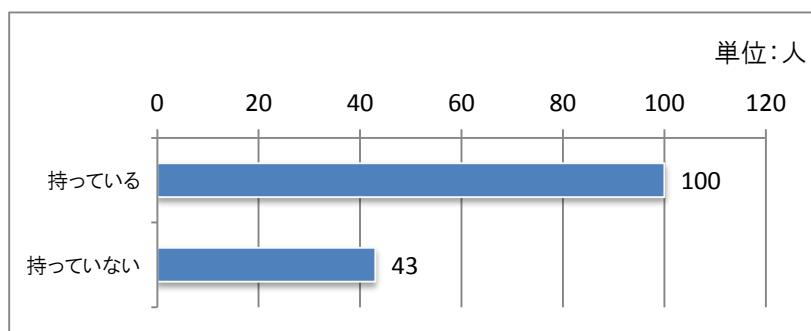
救急医療(夜間・休日の医療)と回答したかたの人数および割合

- ① 北部の回答者45人に対し32人(71.1%)
- ② 南部の回答者38人に対し22人(57.9%)
- ③ 西部の回答者21人に対し14人(66.7%)
- ④ 東部の回答者38人に対し28人(73.7%)

➤ 問9 日頃、病気やけがの時に行く「かかりつけ医」をお持ちですか。(必須)

※割合はアンケート回答者の合計人数(143人)に対する割合。

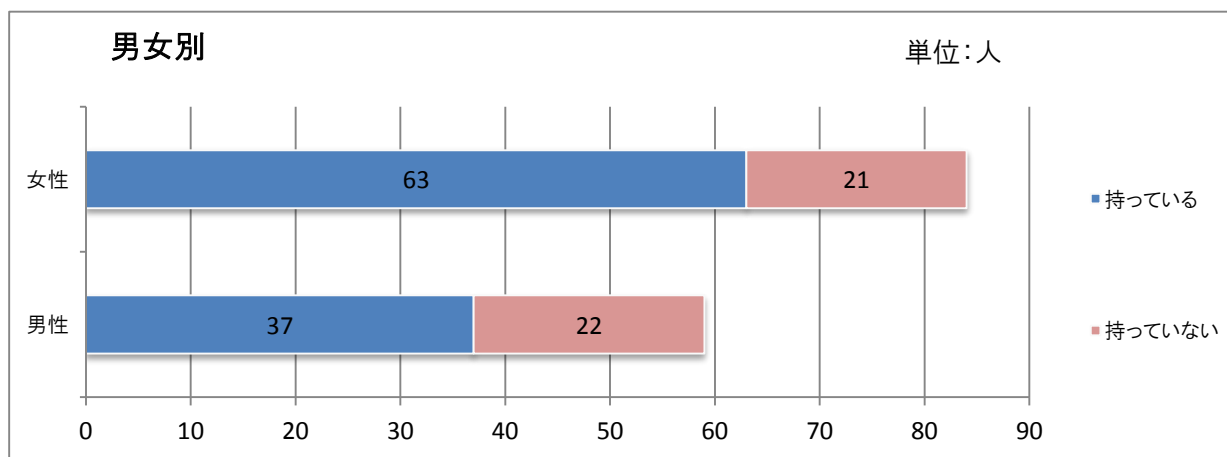
項目	回答数	割合
1 持っている	100	69.9%
2 持っていない	43	30.1%
合計	143	100.0%

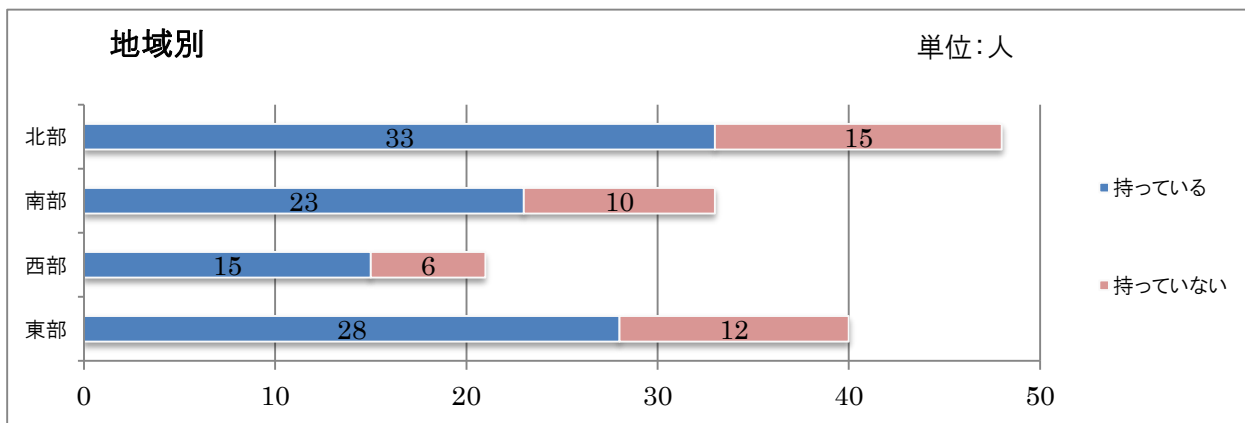
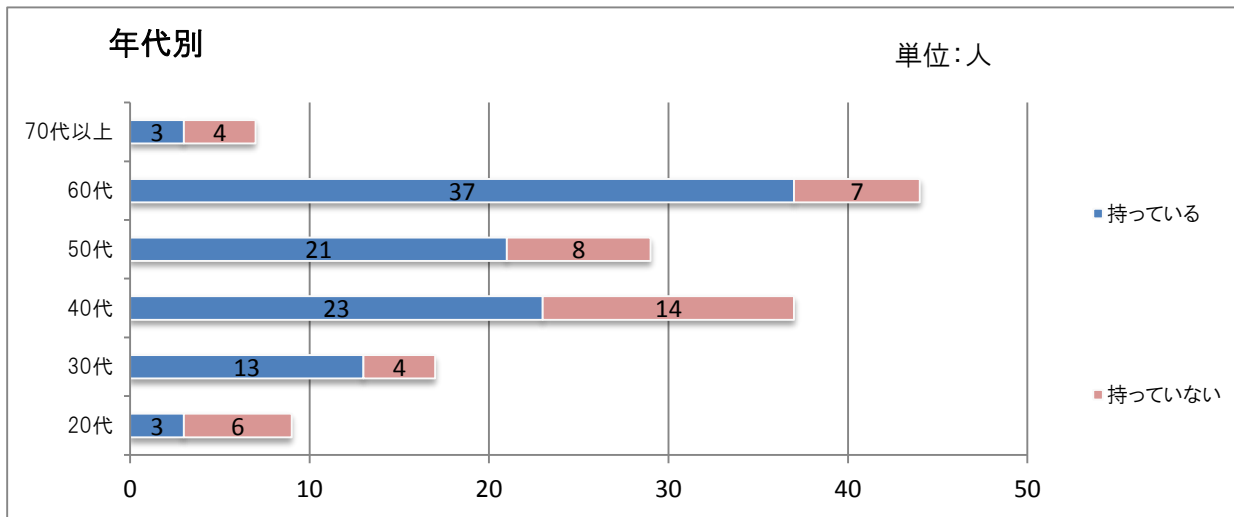


「かかりつけ医」を持っていると回答したかたが全体の69.9%と持っていないと回答したかたよりも多くなっています。

地区別にみると同様の傾向ですが、年代別にみると、60代では80%以上のかたが「かかりつけ医」を持っていると回答したのに対し、20代では33.3%であるなど、年代間で差があります。

また、男女別にみると、男性より女性が「かかりつけ医」を持っている割合が高い傾向となっています。

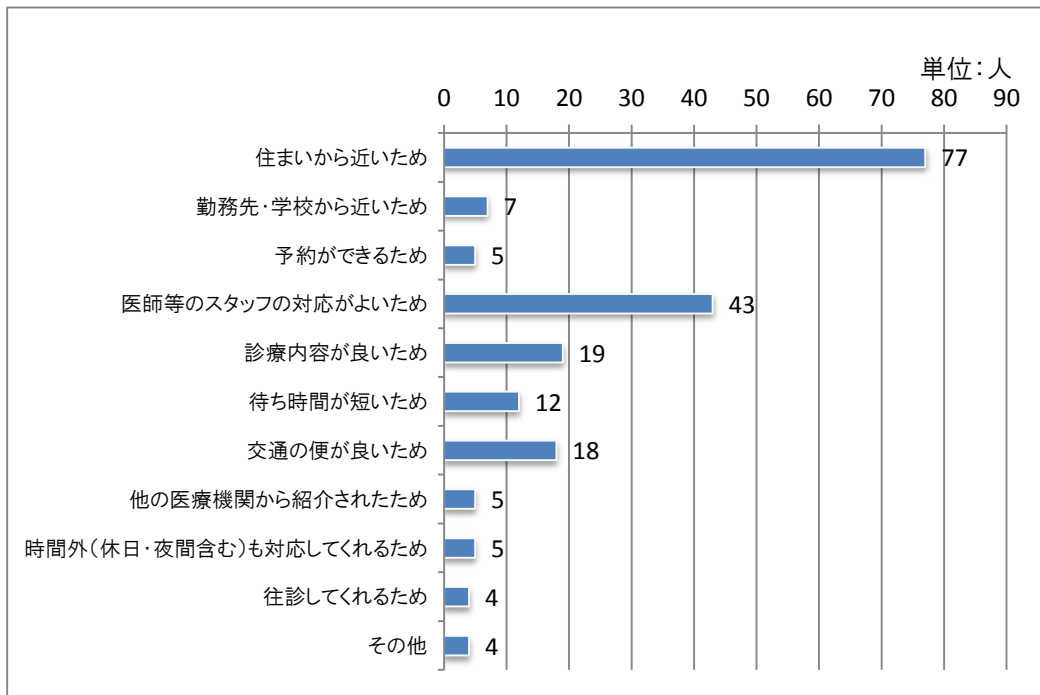




問 10 現在の「かかりつけ医」を選んだ理由を教えてください。(複数回答可)

※割合は問 9 で「持っている」と回答した者の合計人数(100 人)に対する割合。

項目	回答数	割合
1 住まいから近いため	77	77.0%
2 勤務先・学校から近いため	7	7.0%
3 予約ができるため	5	5.0%
4 医師等のスタッフの対応がよいため	43	43.0%
5 診療内容が良かったため	19	19.0%
6 待ち時間が短いため	12	12.0%
7 交通の便が良かったため	18	18.0%
8 他の医療機関から紹介されたため	5	5.0%
9 時間外(休日・夜間含む)も対応してくれるため	5	5.0%
10 往診してくれるため	4	4.0%
11 その他	4	4.0%

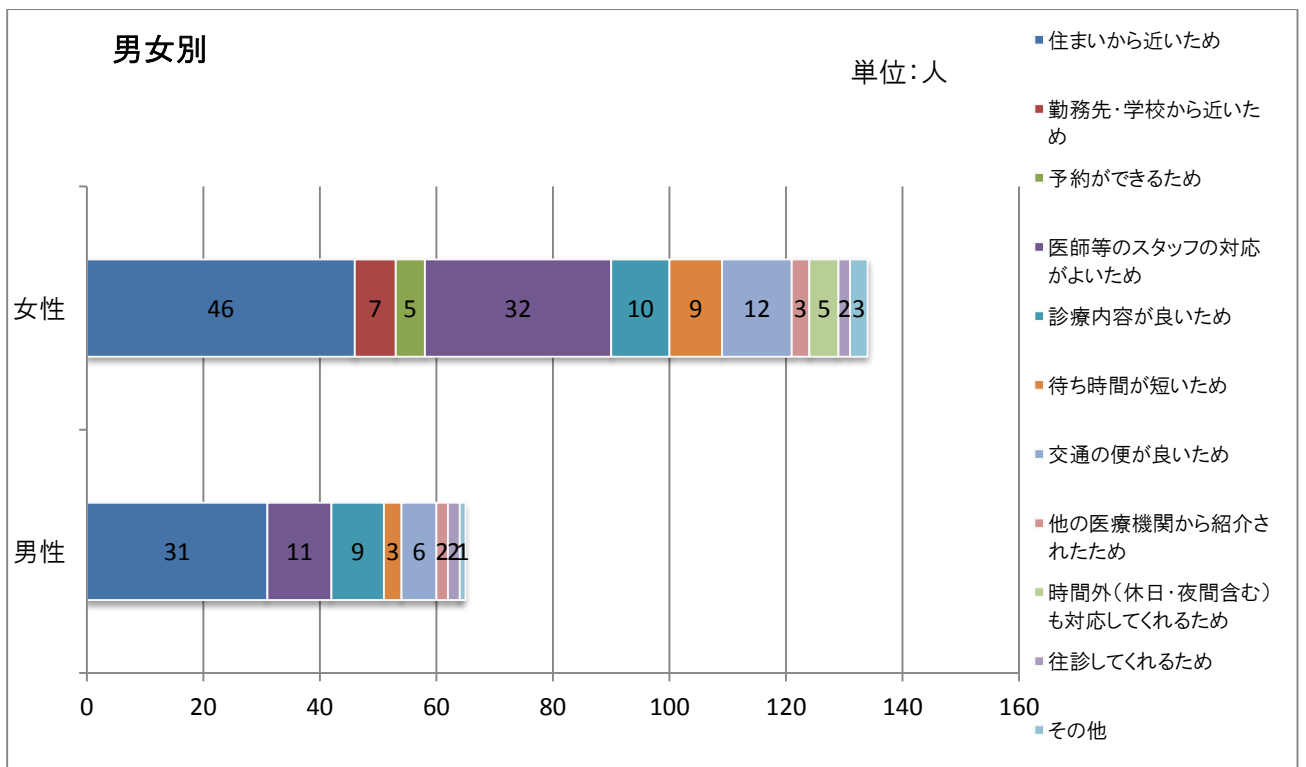


【その他】

知人、小さい頃から通っている、口コミ、総合病院である

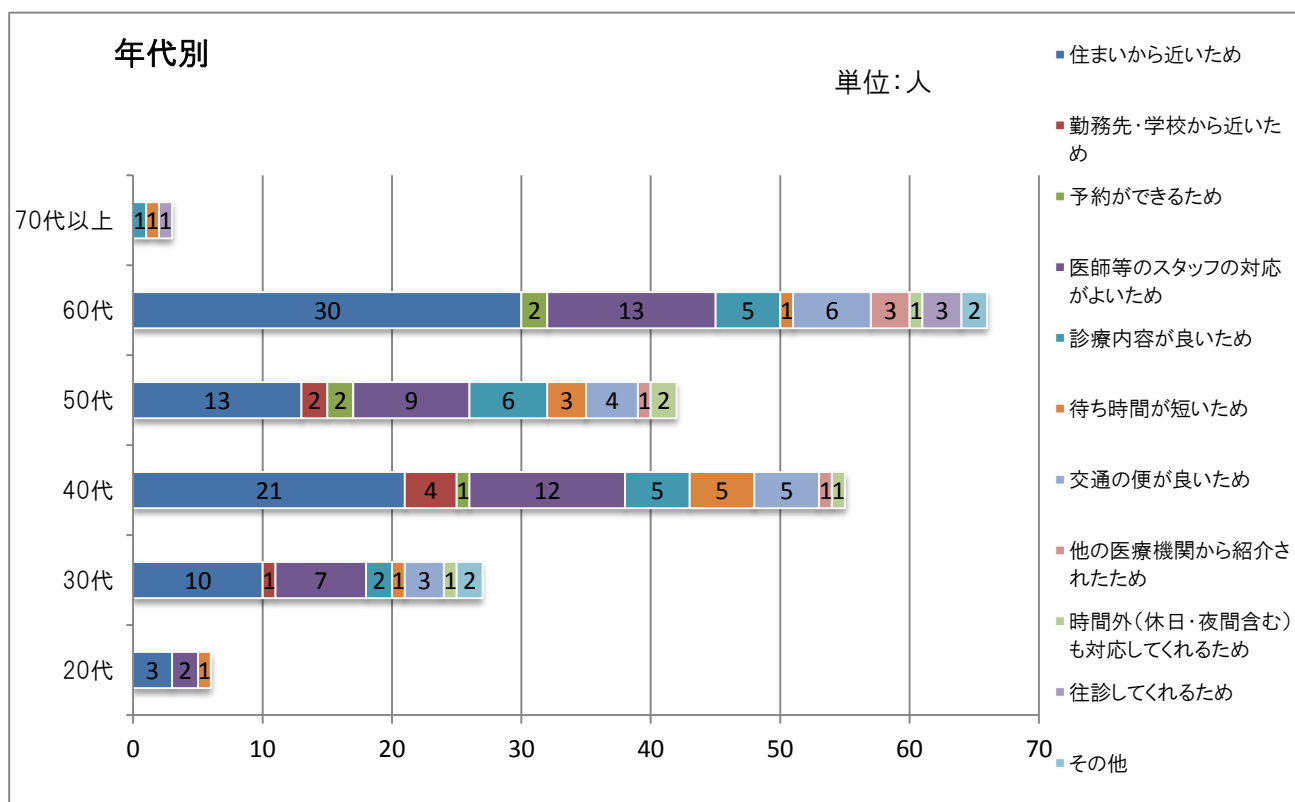
問 9 で現在かかりつけ医を持っているかた 100 人に、理由を伺ったところ、現在の「かかりつけ医」を、住まいから近い(77%)、医師等のスタッフの対応がよい(43%)との理由で選んだかたが多い傾向にあります。

これは、地域別、年代別にみても同様の傾向となっています。



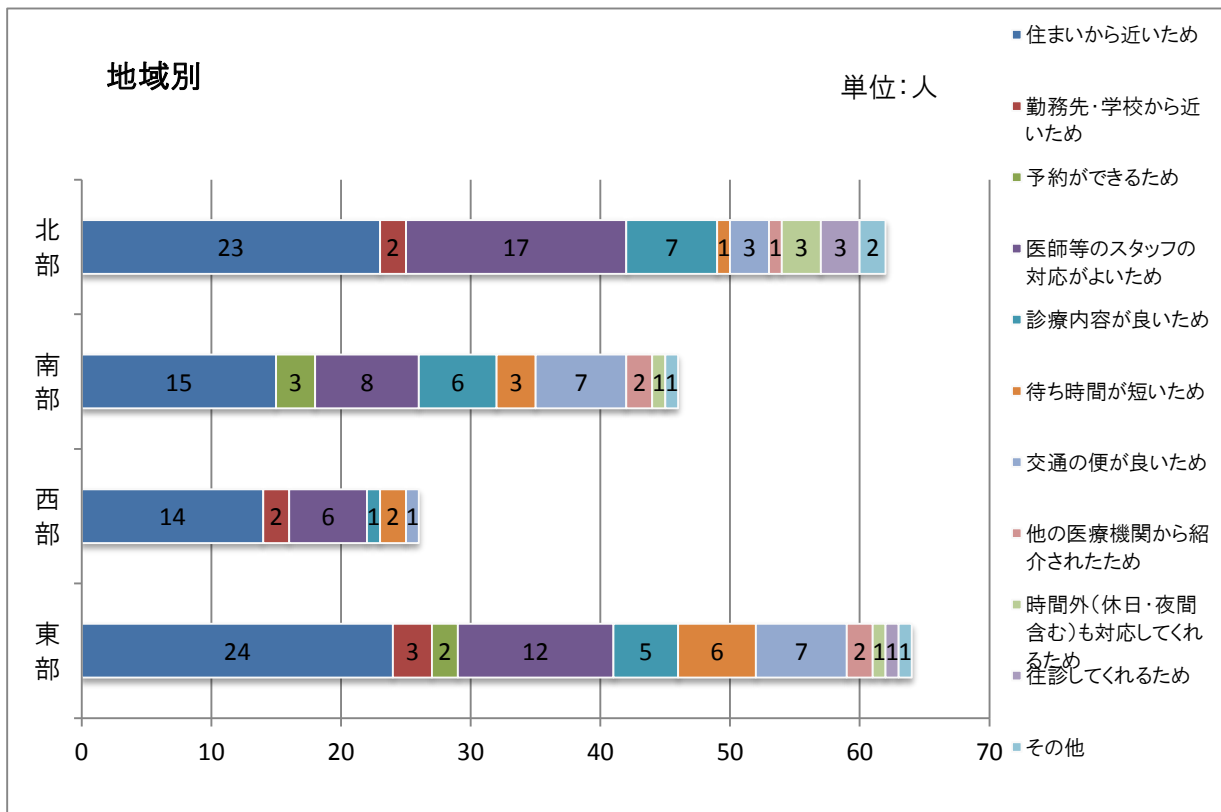
問 6 で現在かかりつけ医を持っていると回答したかた 100 人のうち、住まいから近いと回答したかたの人数および割合

- ① 女性の回答者 63 人に対し 46 人(73.0%)
- ② 男性の回答者 37 人に対し 31 人(83.8%)



問 6 で現在かかりつけ医を持っていると回答したかた 100 人のうち、住まいから近いと回答したかたの人数および割合

- ① 70 代以上の回答者 3 人に対し 1 人(33.3%)
- ② 60 代の回答者 37 人に対し 30 人(81.1%)
- ③ 50 代の回答者 21 人に対し 13 人(61.9%)
- ④ 40 代の回答者 23 人に対し 21 人(91.3%)
- ⑤ 30 代の回答者 13 人に対し 10 人(76.9%)
- ⑥ 20 代の回答者 3 人に対し 3 人(100%)



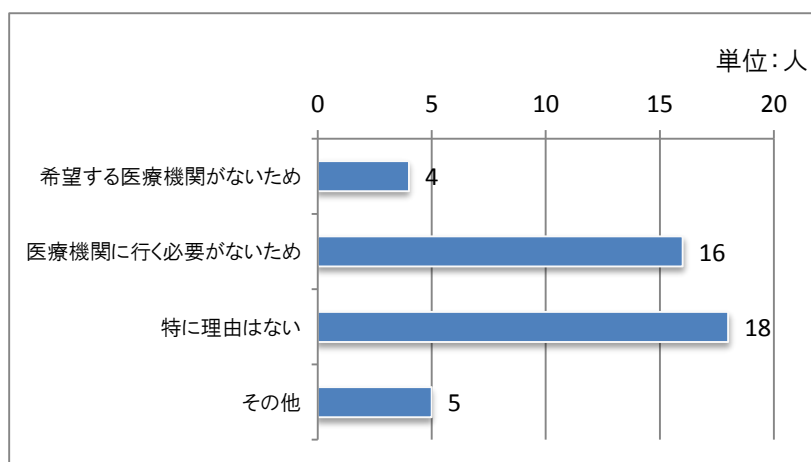
問 6 で現在かかりつけ医を持っていると回答したかた 100 人のうち、住まいから近いと回答したかたの人数および割合

- ①北部の回答者 33 人に対し 23 人(69.7%)
- ②南部の回答者 23 人に対し 15 人(65.2%)
- ③西部の回答者 15 人に対し 14 人(93.3%)
- ④東部の回答者 28 人に対し 24 人(85.7%)

➤ 問 11 「かかりつけ医」を持っていない理由を教えてください。

※割合は問 9 で「っていない」と回答した者の合計人数(43 人)に対する割合。

項目	回答数	割合
1 希望する医療機関がないため	4	9.3%
2 医療機関に行く必要がないため	16	37.2%
3 特に理由はない	18	41.9%
4 その他	5	11.6%
合計	43	100.0%



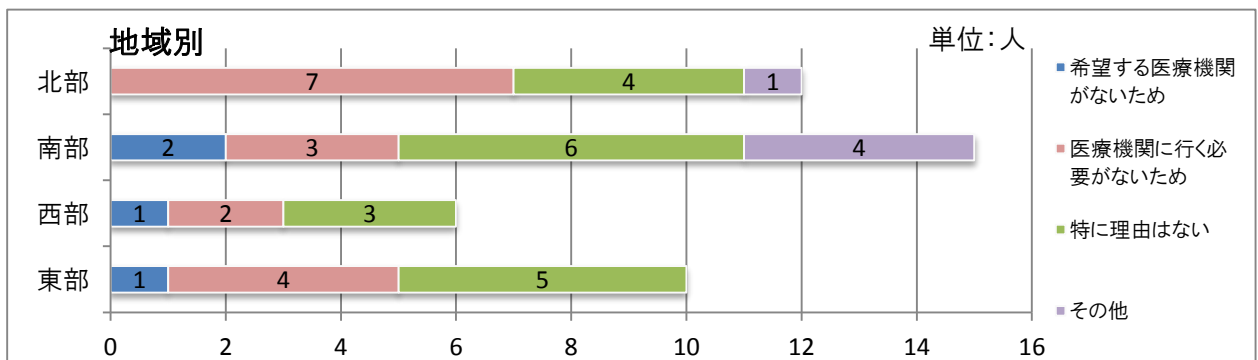
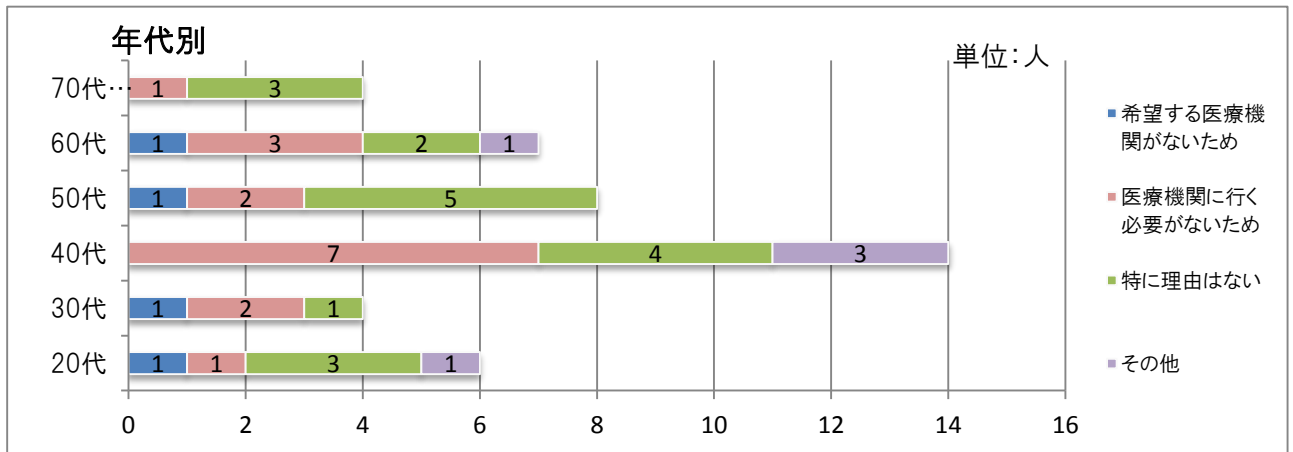
【その他】

- ・かかりつけ医が県外に転居したため。
- ・良い病院が見つかっていない。
- ・特に病気、持病がないため。
- ・引っ越して来たのでどこの病院がいいのか分からない。一度かかっても別の病院に行くことがある。

問 9 で現在かかりつけ医を持っていないと回答したかた 43 人に、理由を伺ったところ、医療機関に行く必要がない(37.2%)、特に理由はない(41.9%)との理由からかかりつけ医をお持ちでないかたが多い傾向にあります。

これは、地域別、年代別にみても同様の傾向です。

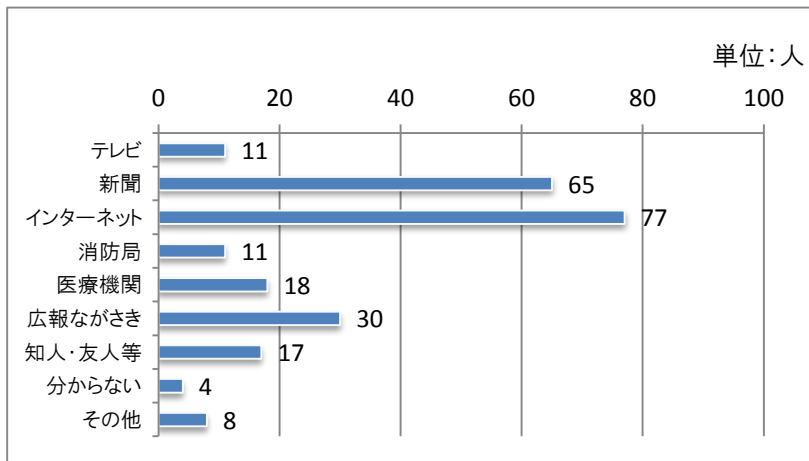




➤ 問 12 夜間・休日などに病気やけがをした場合、受診可能な医療機関の情報はどこから収集していますか。(複数回答可)(必須)

※割合はアンケート回答者の合計人数(143人)に対する割合。

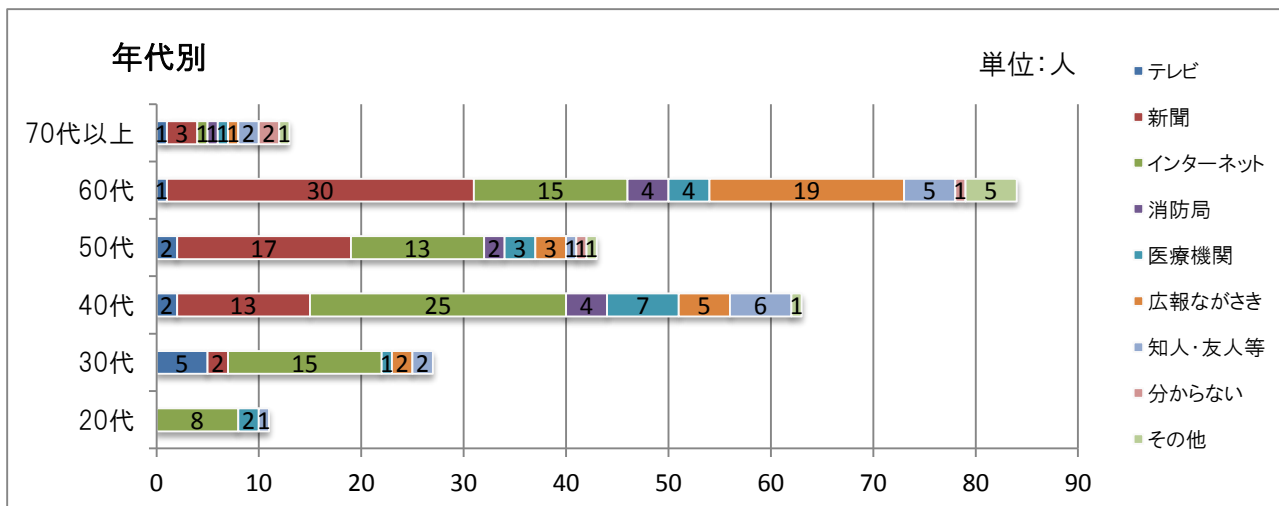
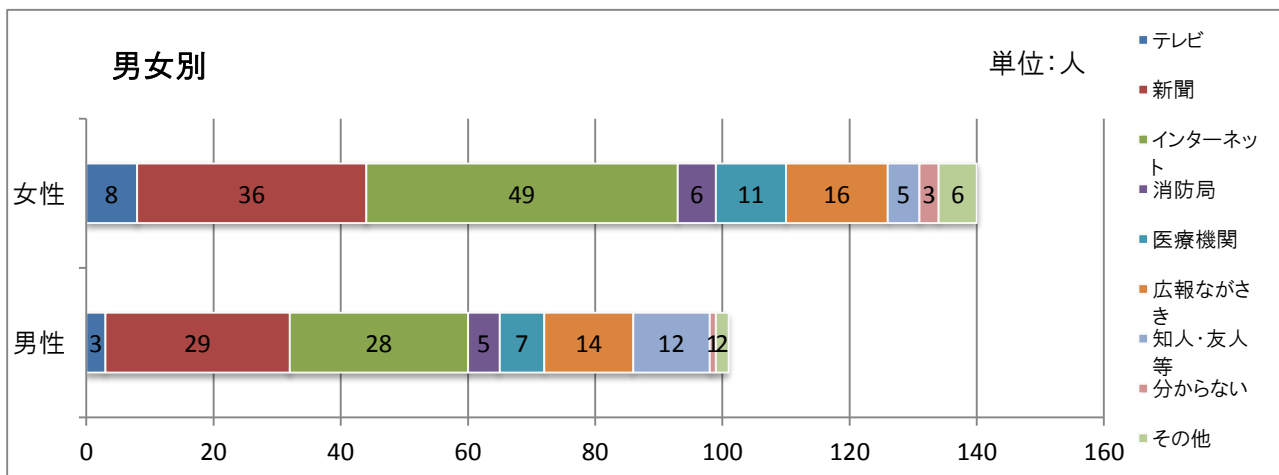
項目	回答数	割合
1 テレビ	11	7.7%
2 新聞	65	45.5%
3 インターネット	77	53.8%
4 消防局	11	7.7%
5 医療機関	18	12.6%
6 広報ながさき	30	21.0%
7 知人・友人等	17	11.9%
8 分からない	4	2.8%
9 その他	8	5.6%



【その他】

- ・電話帳、あじさいコール、身内、スマートフォン
- ・事前に決めている。救急車もお願いするときと自己確認で行うことも。

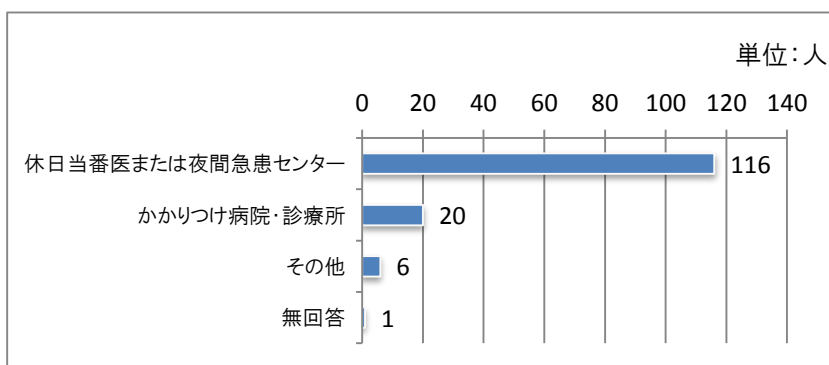
受診可能な医療機関の情報収集については、53.8%がインターネット、45.5%が新聞から情報を得ていることが分かります。また、調査人数143人に対し、回答数が241となっており、複数の方法で情報を収集している(一人当たり約 1.7)ことが分かります。年代別にみると若い世代ほどインターネットで情報を得ている傾向にあります。



➤ 問 13 夜間・休日などに病気やけがをした場合、主にどの医療機関を利用しますか。(必須)

※割合はアンケート回答者の合計人数(143人)に対する割合。

項目	回答数	割合
1 休日当番医または夜間急患センター	116	81.1%
2 かかりつけ病院・診療所	20	14.0%
3 その他	6	4.2%
4 無回答	1	0.7%
合計	143	100.0%



【その他】

- ・専門医がいる病院
- ・救急車を依頼し、隊員の指導による。
- ・かかりつけの医者から紹介という形で、希望する医療機関に紹介してもらう。
- ・インターネットで調べて、一番近くてその日にやっている病院。
- ・近くの病院に問い合わせたダメであれば、休日当番医または夜間救急センター
- ・とりあえず近くの急患センター
- ・救急車を呼んで連れて行かれた病院が一番手っ取り早いし確実だから。

夜間・休日などに病気やけがをした場合、81.1%のかたが休日当番医または夜間急患センターを利用していることが分かります。

これは、男女別、年代別、地域別にみてもほぼ同様の傾向となっています。

